

報 海外に子ども用車椅子を送る会

創刊号

2004年(平成16年)10月
 事務局 千197-0000
 東京都昭島市加美字9-7-13
 会長: 森田 祐和
 制作・編集: 森山 和典



健也君と

森田祐和会長挨拶

この会を発足してから三ヶ月で第一段として、マレーシアに車椅子を十六台送り出すことが出来ました。これもひとえに会員の皆様のご協力の賜物です。本当にありがとうございます。今後この活動においては資金の調達ポイントとなります。来年の夏頃を目標に第一便を発送したいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力が必要となりますので、重ねてお願い申し上げます。

この活動を通じて深く感じた事があります。それは全員の力と能力を結集すれば、相当な事が出来るという事です。今後、難問が立ちはだかる事があるとは思いますが、多くの方の協力と支援を賜り、活動を推進したいと考えております。



横断幕は島田屋造花店様よりの寄贈です



マレーシアに太いパイプを持ち当会顧問としてご指導を頂いている片野智之氏(中央)、右は横垣副会長、左の多良会員と共に第一回目の車椅子整備の時の写真です



この日、第一使用の車椅子16台を整備・清掃・消毒し、その準備待ちの車椅子

八月中に二度にわたってハーロリーデンタさんの敷地をお借りして、忙しい中ご協力頂きました会員の皆様の手により、整備、データ収集、清掃、消毒を行いました。

さらに出荷の準備として、一台一台しっかりとロープで縛り、さらに保護用ビニールシート(プチプチ)で丁寧に保護し車数台に積み込み、後はプロの梱包業者さんに渡せるまでを行いました。



ここで活動の昼食は毎回鉄板で焼きそば焼肉いわいと

八月の猛暑の中、二度にわたる作業で体力の消耗が激しいものでした。しかし、力を合わせて進めた結果、なんとか終わる事が出来ました。



藤川会員作成の募金箱



車椅子メーカーの西野会員。多くのアドバイスを頂く



「～え！ そうなっているのかあ！ と、感心する二人。・そして車椅子に触れる機会さえ今まで無かったほとんどの会員達が整備を通じて構造を勉強していく

これが西多摩新聞に掲載された写真です(平成十六年八月十三日付)



毎回、千葉から参加している石橋会員
来るだけでも大変ですよ～!



ヤマト社にて。トラックから16台の車椅子が入った木箱を降ろすところ。無事に届いてくれ!という願いを込めて、みんなで見送りました。

八月二十八日、午前〇時に昭島から出発して、大田区京浜島にある「ヤマト・グローバルレイト社」に向かいました。参加十三名、トラック一台、伴走二台で出発。途中レストラに立ち寄り、海辺の公園で夜が明けるのを待って、無事に入れました。帰りはかなりの疲労と睡眠が襲ってきて、つらい状況になりました。でも、みんな、よく頑張った!



今回我々の活動に気持ちよくご協力頂き、さらに破格の料金でご協力頂いた多摩包装工業(株)の指田社長。海外にコンテナ船で送るには我々では梱包出来ず、輸出用を手がける多摩包装様にお願ひしたところ、材料費以下の料金で受けて頂きました。「これ一回きりで終わらないだろうな!」という叱咤激励とともに。

- ご協力頂きました皆様です。ありがとうございました
- * 今里歯科医院様 10,000円
 - * 昭島舞踏会様 10,000円
 - * 島田造花店様 横断幕作成・提供
 - * 多摩包装工業株様 木箱梱包2箱



島田屋造花店の専務ご夫妻。急なお問い合わせにもかかわらず快く引き受けて下さいました。横断幕はいつでもどこでも活躍です!

当会の活動の詳細はホームページにて公開中!時々覗いて下さい。新しい動きは随時更新してます!ホームページは横垣副会長が作成しております。取材・写真・翻訳など小野洋子さんがサポート。

アドレス <http://www.chanoko.jp>
 あるいは YAHOO! の検索で「茶の子」と入力すれば見つかります

★創刊号作成にあたり
 今更なる内容の急ぎよ
 りに熱心なご協力のおかげで
 りまはるご返事のおかげで
 とえは返さずともお返しの
 えいさつをさせていただきます
 にご協力いただきありがとうございます
 お知見ませ下さい。森山和典



募金箱に入れたお金の姿に感動を覚えました。



九月十一日に昭島市小学校で行われた「ふれあふバル」に参加しました。大勢の子供たちに車椅子を体験してもらった事が出来た。当日は行列が出来るほど大人気で、募金箱には総額五千円も頂きました。子供たちのお金の姿に感動を覚えました。



校舎の外に「目立てっ!」と張り出した横断幕